

令和3年(2021)

9/1

No.1933

毎月1・15日発行



市民の誓い

私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います

<人口>		
男	78,294	(+8)
女	81,840	(-39)
計	160,134	(-31)
<世帯数>		
	67,930	(+10)
8月1日現在 ()は前月比		

新型コロナウイルス感染拡大阻止へ

「緊急事態宣言」発令中

新型コロナウイルスの感染急増を受けて、8月27日から岐阜県にも「緊急事態宣言」が発令され、県内全域で、飲食店などを対象に、酒類・カラオケ設備の提供の取り止めや、営業時間の短縮が要請されるなど、

感染拡大を阻止する取り組みが実施されています。

同居家族以外と一緒に行動は控え、マスクを外す場面に特に注意するなど、感染リスクのある行動の徹底した見直しと感染防止対策を継続してください。

市長からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症の第5波が猛威を振るっています。県内の新規感染者が急増して病床や宿泊療養施設がひっ迫し、岐阜県に3度目の「緊急事態宣言」が発令されました。

本市でも、多数の新規感染者が確認されており、かつてない危機的な状況になっています。感染拡大にいち早く歯止めをかけるため、政府の宣言発令などに先駆けて、8月19日に市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、大垣市非常事態宣言～「市民の生命(いのち)を守る」宣言～を発出しました。

9月12日まで、①「施設の利用停止およびイベントの中止などによる人流抑制」②「市民の人流抑制に結びつく広報・啓発」③「安全かつ円滑なワクチン接種体制の整備」を3本柱に、県と連携して感染拡大防止対策を強力に実施しています。

市独自の非常事態を宣言するにあたって、特に人流の抑制に重点を置き、イベントの中止と市有施設の利用停止をお願いしています。

市民の皆さん、企業の皆さんには、さまざまな場面でご不便をおかけしますが、ここが我慢のしどころです。一人一人の行動自制で感染拡大を確実にストップさせたいという強い思いでの発出であり、皆さまのご理解とご協力が必要です。



市独自の非常事態宣言を発出する石田市長



(市長会見動画)

このままでは医療体制が崩壊し、「救える命が救えない」災害級の状況に陥ります。ご自身や大切なご家族、周りの人の命を守るために、今一度、マスク着用や手洗い、三密回避などの基本的な感染防止対策の継続に加え、不要不急の外出を控えて、人との接触を極力減らすことをお願いいたします。

大垣市長 石田 仁

9月1日号 主な内容

- ▶社会生活基本調査にご協力を、市職員（技能労務職）募集ほか…2～3P
- ▶講座・催しのお知らせ …4～5P
- ▶新入学児童の健康診断、子育て講座のお知らせ、市民伝言板など …6～7P
- ▶子育て世代包括支援センターの案内、おおがき子育て応援メールを開始など …8～9P
- ▶健康ガイド …10～11P
- ▶奥の細道むすびの地記念館企画展ほか …12P

妊婦とその夫またはパートナーのワクチン接種優先予約を始めます

市は、安心して出産を迎えてもらうため、新型コロナウイルスのワクチン接種を希望される妊婦とその夫またはパートナーを対象に、集団接種の優先予約を始めます。

対象

- ①市内在住の妊婦（出産のため市内に里帰りしている妊婦も対象）
- ※事前にかかりつけの産婦人科医の接種許可と、接種後の体調不良に備えて当日付き添いが必要
- ②妊婦の夫またはパートナー



持ち物

クーポン券、身分証明書、予診票、母子健康手帳、市から送付する接種日の確定通知書、住民票が市外にある場合は「住所地外接種届」

使用するワクチン

ファイザー社製ワクチン（予定）

予約受付開始

対象	予約受付開始日
妊娠8か月以降の人	9月1日(水) 8:30～
妊娠5～7か月の人	9月2日(木) 8:30～
妊娠4か月までの人は	9月3日(金) 8:30～

予約方法

市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター（☎47-6101）へ電話し、接種券番号や母子健康手帳番号などを申し出て予約